

季語の蘊蓄(うんちく)

若葉より青葉の臭し男山 これは 昨夜開かれた
朝日新聞滑稽俳句会に提出した拙句である。男山は瓶ヶ森 の双子山頂のひとつ 一句に
季語をふたつ入れたが ともに夏の季語だが 中心の季語は 青葉 である 若葉は五月
青葉は六月と勝手に決めている。
風光る は 三月 風薫る は五月 などと自身で目安をつくっておくとよらしい。

俳句豆知識

即興オヤジギャグスピーチ を連載している。その続きです。
さて本日の素晴らしいお日和を褒め讃えられました。まさに喜見城日和ではないでしょう
か そこで提案いたします。「喜見城日和を秋の季語とせむ」いかがでしょうか さて 結
社・喜見城のみなさんの俳句への思いに迷いはなく ひたすら俳句道に励んでいるように
お見受けしました。そこで「句の道に試行錯誤のなかりけり」(主宰が紫紅(試行))

名句鑑賞

蟻の列しづかに蝶をうかべたる 篠原梵 蟻の列で切って余計なことを言わず描写に徹
している。三好達治の 詩「土」を連想させる 蟻が蝶の羽をひいて行く ああ ヨット
のようだ 「詩は 多弁である。俳句は寡黙である」
・ ・ 私が講演で俳句の特質を語るときのキーワード。
俳句と短歌の違いをいうのに 「俳句は涙をいっぱい溜めてこぼさない 短歌はジャージ
ャーこぼす」これは「風樹」主宰の豊長みのる氏の名言である。

滑稽の作法

【文字に発見】烏賊(いか)といふ文字のなにやら悪党めく 健
これも昨夜の朝日新聞滑稽俳句会に提出した句である。
私がつくった文字に発見の最初の句は 文字通り丘を引きずる蚯蚓かな 14年前の作。

「微苦笑俳壇」より

法師蝉言語明瞭意味不明 稲沢進一
蝉語の解明なんて馬鹿馬鹿しいことをやる学者はいないだろうね あれだけ明瞭な発音な
のだから、調べればすぐ解けるはずである もっとも「つくづく美味しい」ぐらいなら素
人でもわかるのだが

<八木 健の365句> 鉄の鍋月に傾け磨きけり

季語の蘆薈(うんちく)

花蜜柑 蜜柑の花のことで、合歡の花を 花合歡というのと同じで天地にすることで一字短縮できるのである。

ところが 菖蒲の花 と 花菖蒲の場合は これに当てはまらない。

菖蒲は五月の節句に風呂にいれたりするもので花は地味なもので、サトイモ科である。

花菖蒲は野花菖蒲が改良されたものでアヤメ科。美しい花をつける。

俳句豆知識

駄洒落即興スピーチ再録 六百号を迎えて主宰の紫紅さんはもうすでに七百号への意欲をかきたてておいでのようです。

そこで「六百号主宰の四股(紫紅)を踏みぬたる」ところで、この喜見城で主宰の片腕として活躍の川上弥生さん。川上さんには BS の俳句王国にもご出演いただきました。

決して大きなからだではないのに八面六臂のご勝山。魔法使いのようです。魚津の魔法使いと呼ばしましょう。弥生さん魚津(オズ)の魔法使いとも 著名俳人でご来賓の岡本眸先生のご祝辞を伺っておりまして、「名は体を表す」を実感いたしました。

ふくよかなおからだで眸を輝かせてお話をなさる。「ひとみ(眸)輝かせ祝辞の岡本さん」

名句鑑賞

さわやかにおのが濁りをぬけし鯉 爽雨

おのが濁り・・鯉がひと跳ねして池の底の泥を掻きたててしまった。

その濁りを「おのが濁り」としてなのである。俳句は次の瞬間を詠んだ。その濁りから抜け出て色鮮やかなすがたを見せたのである。さわやかに・・である。

滑稽の作法

【描写から抜ける】蟻同士なにを話したのでせうか

蟻さんと蟻さんがごつつんこ の風景である。

蟻と蟻あたまくつつけ話める・・は描写である。それを作者が感じたことに変換してしまうと・・蟻同士なにを話したのでせうか となるのだ。

「微苦笑俳壇」より

生身魂(いきみたま)またはじめから話し出す 越前春生

同じ話を繰り返すようになったら生身魂に近づいたのだということですね。

「だれにもまだ話していないことだがね」

「おじいちゃんこの前聞きましたよその話」なんて言っちゃだめ。驚いてあげよう。

するとおじいちゃん「お前は認知症だな 今の話は三回目だぞ」

<八木 健の 365 句> 独楽を搏(う)つ少年独楽を叱りつつ

<山口誓子の 365 句> 歩をすすめがたしや天地夕焼けて

【休刊のお知らせ】

明日から 7 日まで 5 日間 旅行のため「愚陀佛庵通信」は休刊します。

愚陀佛庵通信

2010 年 6 月 8 日 号

季語の蘊蓄(うんちく)

枝豆 えだまめ 夏の季語なのか 秋の季語なのか・・歳時記によって 異なる ホトギス歳時記では秋 角川の合本歳時記でも秋 同じ 角川の歳時記でも「入門歳時記」は「夏」の季語と分類されている。大豆がまだ未成熟のうちに収穫してビールつまみになるのだから 「夏」が実態にあった分類と思う。

子規の句に「枝豆や三寸飛んで口に入る」

子規の句はこの「とぼけ味」が魅力

俳句豆知識

駄洒落即興スピーチ再録最終回 ・・とまあこんな駄洒落ばかりだが「驚いた」とか「簡単に俳句をつくれるようになった」という感想をいただいた。私の今年の年賀はがきも駄洒落のオンパレードで「謹賀辰年」と書き、龍の仲間のイグアナを抱いている写真に「イグアナを抱くヤギアナ」と書いた。そして一句「貫禄のなき還暦の年男 たけし」 蛇足で「賈とならないやうに 2000 年」と書き添えた。

・・ここまで「八木健のすらすら俳句術」から載したが、オジサンギャグと軽蔑されようだが、かまわずに日常的に駄洒落を言い続けるのが 言葉遊びの俳句にはプラスになることは間違いない。

名句鑑賞

行水の捨どころなき虫の声 鬼貫 鬼貫は芭蕉とも交流のあった江戸時代の俳人で、「東の芭蕉・西の鬼貫」と称された。掲出句は 季語が重複している。行水は夏の季語であるが虫の声が主体で秋になったばかりの時期の句である。現代の俳人とほとんど同じよ

うなを詠んでいる。鬼貫が新しいのか 俳句に進歩がないのか・正解は「俳句は進歩しない」である。

滑稽の作法

【滑稽小説から連想】肩の蠅家来のやうについて来し

この句はドンキホーテが下敷きになっている。蠅はさしづめ サンチョパンサなのである。

「微苦笑俳壇」より

特選 枝ぶりを云々言へた鶯か 小林英昭

歌が下手な奴に限ってカラオケの音響に文句をつけるのである。鶯の場合も同様にホーホケケキョ!なんて言うのがいる。枝ぶりが具合悪いのよと言い訳をする。

枝は言い訳なんかせんだろうが

<八木 健の 365 句> 定員を超過してある掘炬燵

<山口誓子の 365 句> 歩を進めがたしや天地夕焼けて

愚陀佛庵通信

2010 年 6 月 9 日 号

季語の蘊蓄(うんちく)

早月 さつき 陰暦五月の異称 である 語源は 早苗月 とも。

同じ発音でつつじ科の花の「さつき」は 杜鵑花 と書く

俳句豆知識

このところ拙著「すらすら俳句術」から俳句のトークショーを抜粋転載しているが もうひとつ 平成 13 年に高知県本山町の大原富枝文学館で 故 加藤三七子 先生とのショーの記録を……

ステージの袖から登場

わがゆめのつづきの花野なりしかな と標準語のアクセントで 八木健が。

続いて「わがゆめのつづきの花野なりしかな」と関西アクセントで加藤三七子。

ふたりは繰り返し謡いながらステージ中央へ。

サイドテーブルと椅子。二人は腰をおろす。

八木 いい句ですね先生。すばらしいです。それが素敵な句碑になりまして、本当におめでとうございます。先ほど俳句大会の入賞者表彰で三七子選の受賞者に賞状をお渡しになるとき、賞状の文章を読むのをお忘れになりましたね。(笑い)

皆さん さう言う先生なんですよ。

三七子さんは これが当たり前(笑い)

名句鑑賞

もろこしの葉にたらたらと稲光 富安風生

「たらたらと」がいい。鋭い稲光を風生はそのように見たのである。活写したのである。一句に「誰も使わなかった表現があると その句は後世に残る。「たらたらと」 実は私もそんなふうに感じたのですが 風生のように表現できませんでた・・・と多くの俳人は言うに違いない。

滑稽の作法

【見たまま】を書く。とんぼの空中給油してをりぬ 健

とんぼが空中で交尾しながら輪になって飛ぶことを「となめ」という。

字が難しいのでここには書かないが広辞苑には出ていますから 御覧くださいね。風生の「たらたらと」には足元にも及ばないが「空中給油」は誰もしていない表現である。「となめ」という難しい用語を使わず、見たままを書くところなのである。

「微苦笑俳壇」より

特選 柳にも好きな風ありなよなよと 有吉堅二

柳がなよなよとするのは好きな風が吹いてきたからというわけ ということは嫌いな風的时候は、なよなよしない。女性の柳腰は艶っぽい嫌いな男が来たときは「シャキッ」とするのかな

<八木 健の 365 句> のめりつつ紙風船をもちあぐる

<山口 誓子の 365 句> みめよくて田植の笠に指を添ふ

季語の蘆薈(うんちく) 火取虫

ひとりむし 夏の夜 灯火のまわりに集まってくる虫の総称である。

なぜ火取虫 というか 灯油の中に飛び込んで 灯火を消してしまうからである。火取虫の中でも「蛾」は 火(かが)と 呼ぶ 越中おはら節に 「富山あたりかあのともしひは、

飛んで行きたや、おら火取虫」がある。これは、おはら四季の「夏の歌」で、春夏秋冬すべて恋歌です。全部えます。

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の15周年記念大会でのこと。阿波野青畝先生のお写真に献茶をする際に加藤三七子さんは、緋毛氈の上で滑って、真っ白な着物にお茶をかぶってしまった。あときはパニックになるかと思いきや、笑って誤魔化した。(笑い) 黄鐘20周年の祝賀会の時には、私は司会者としてお邪魔しました。祝賀会の翌日に若草山へ二台の大型観光バスで行くことになりました。三七子さんは真っ先にバスに乗り込んで「うちの人たちはどうしたのかしら 遅いわ、なにしてるんでしょう」と気を揉んでいらした。しばらくすると お身内の方々が「お母さまハンドバッグが落ちていました。」「ショールが椅子のところにありました」「財布が・・・」とご家族が拾い集めてもってきてくださる。そういう先生ですから賞状の文章を読まなかったなんて失敗のうちに入らない(笑い) 今日は、さまざまな「三七子俳句」をご紹介しますながら 俳人・加藤三七子の魅力に迫ってみたいと思います。

名句鑑賞

稲妻のかきまぜて行く闇夜かな 向井去来
昨日の本欄で「たらたらと」「稲光」という句をご紹介します。稲光 と稲妻 は同じもので 秋の季語。放電現象で 多くは屈折して見える。「たらたらと」は 一筋の稲妻を、 かきまぜて は 遠景で若干の経過描写であるが江戸時代初期の句である。現代の俳人でも作りそうな表現・

滑稽の作法

【思い込み】盆の窪あたりに着地風邪の神 健
俳句は どのように感じたかを書くものだから 当然、個人差がある。個人差はなければならぬ。風邪は得体の知れぬ「なにものか」がやってきて とりつくものである。それは神様である。空中を飛んできて、作者にとりついた。後頭部にとりついた。盆の窪あたりに着地したのである。
風邪のひきははじめ・・・「うしろ頭が痛いだけじゃんか」といえば身も蓋もない。

「微苦笑俳壇」より

誰も嘘つかぬ日が欲し万愚節 前川敏夫
言い得て妙という奴 嘘つきの年がら年じゅう万愚節 万愚節せめてこの日は嘘つくな
正直は人の宝と石松は・これは浪曲季語がない。嘘は方便ところによって宝となる とお釈迦さま

<八木 健の 365 句> 綿虫を数へることは出来ません

<山口誓子の 365 句> 早苗投ぐ青の塊飛んでゆく

愚陀佛庵通信

2010 年 6 月 11 日 号

季語の蘊蓄(うんちく)

傍題 ぼうだい について 本欄で再三 傍題に がある と例示してきましたが 傍題 につて 広辞苑には 和歌 連歌 俳諧で題の主となるべきものを詠まずに他のものを詠むこと・・・とある。俳句では 主たる季語に関連した季語ということになる。たとえば 鶉飼 うかい という夏の季語の傍題として 鶉を操る「鶉遣」 または「鶉匠」は「荒鶉」を訓練して鮎捕り上手に育て「鶉籠」から鶉を出して「鶉舟」に乗って「鶉簀」を煌々と焚いて「鶉縄」を繰り出すという「 」内のすべてが傍題である。

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の 15 周年記念大会でのこと。

俳句をつくり始めたのは 31 歳でしたね。

いいえ 32 歳です。

一歳ぐらいいいじゃないですか(笑い) きっかけはどのようなことで、?

近所の方がお勧めくださった。当時、二人目の子が乳飲み子だったんです。赤ちゃんを連れて句会に出たところ、私の句にいっぱい点が入ったんです。おだてられて、以来、休むことなく句会に出たんです。

会場の皆さんもお手元の俳句一覧を御覧ください。 コスモスにのりいれ吾子の乳母車 これは加藤さんのその頃の句ですか?

昭和 32 年の作とあります。子どもが四人ありまして、三番目の子の頃でした。男の子が三人、女の子が一人できました。男男男女ですか いいえ 女男男男です(笑い)

名句鑑賞

冬ざれのくちびるを吸ふ別れかな 草城

この句の解釈はほとんどすべて「かさかさに乾燥したくちびる」と解釈されている。それは間違い 冬ざれの・・・は風景なのである。「冬ざれの風景の中の別れ」なのである。冬ざれの風景と 生き生きした男女の対比なのである。誤った解釈がまかり通っている。

滑稽の作法

【イメージを遊ぶ】布引の滝縦縞でありにけり 健

北海道の朝日岳の麓にある布引の滝を見てつくった。縦縞なのである。

「微苦笑俳壇」より

塀に貼る「貼紙禁止」春うらら 加瀬和正

こういうのありますね。静かにしてくださいと大声だしたり、脇見運転するなの看板を見てたら追突したり、動物愛護の焼き肉パーティーとか俳句は滑稽が大切と言いながら滑稽を馬鹿にしたり

<八木 健の 365 句> 檸檬ひとつ傷つけ旅の朝はじまる

<山口誓子の 365 句> 鵜篝の早瀬を過ぐる大炎上

愚陀佛庵通信

2010 年 6 月 12 日 号

季語の蘆薈(うんちく)

鈴蘭 すずらん 蘭という名前がついているが 蘭ではない。ユリ科の宿根草である。別名 君影草 傍題である。有毒植物なので牛馬が食べない ために残ったとも。

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の 15 周年記念大会でのこと。

次の句ですが、ためらひし一言白き息となる。なんかこれは凄い句ですね。

凄いですか？ みなさん そんな経験ありませんか？ もうひとつあります。

逢ひにゆく息の白さにおどろきし という句がありましてそれを裏返したかたちの句として「ためらひし一言白き息となる」があります。つくったときは違うんですが言われてみると二つの句は呼応しますね。たしかに、ためらひし一言にも恋心がありますね。恋の句はたくさんありまして、闇汁にかの人のそばはなれじと 闇汁ですから真っ暗。彼の人が側にいる。そんな経験ありませんか？

名句鑑賞

初日さす硯の海に波もなし 正岡子規

硯の窪みを海と呼ぶ 硯の海に波がない・・・写生句であるが機知俳句に近い。

作句した年代を調べ中ですが、寝たきりになってからの句とすれば海への憧れを滲ませたものと言える

滑稽の作法

【感じたまま】遮断機の持ち上げてある秋の空 健 遮断機が秋の空を持ち上げるはずがない。踏み切りの遮断機が揚がる時 視界が開きの空にひろがり遮断機が空を持ち上げたように見えたのである。

「微苦笑俳壇」より

母の字の父の名で着く今年米 清水吞舟

オレ、東京じゃパン食べてるよ。この前送ってくれたお米はさあ半年ばかり放っておいたら蛾が飛び出したから驚いちゃったんだ親の気持を知らない馬鹿息子の懺悔の一句と見たがどうだろうか

<八木 健の 365 句> 白眼剥く牛を引き出す寒の明け

<山口誓子の 365 句> はや動かざる水馬暮を待つ

愚陀佛庵通信

2010 年 6 月 13 日 号

季語の蘆薈(うんちく)

蛇苺 へびいちご 夏の季語である。毒はないから食べられるのだが名前に「蛇」がついているので有毒と勘違いされて 誰も食べない。もっとも味がないから食べても美味しいものではない。ふるさとの沼のにほひや蛇苺 水原秋桜子

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の 15 周年記念大会でのトークショーから。
さて次の句です。トランプの鬼が出てある昼寝かな こどもたちが全員昼寝してしまった。畳にジョーカーが一枚転がっていたんです。ジョーカーを鬼と見立てたんです。
この場合、季語は昼寝ですね。子育てをしながら俳句をお作りだったわけですね。月に何句ぐらいお作りになりましたか。
そうですね、この頃は月に 100 句ぐらい作っていました。「たくさん作りたくさん捨てる」ように言われていましたから。

名句鑑賞

初夢も無く穿く足袋の裏白し 渡辺水巴

この句には 「初夢」と「足袋」 季語がふたつある。どちらが中心の季語かといえば、「足袋」である。しかし、「初夢」があるから新年の足袋である。「裏が白い」ということをいいたいので 裏白し初夢もなく穿く足袋の と倒置すれば、わかりやすい。それでは「初夢もなく」は何のために書いたのか。裏の白さに新年の「淑気」を感じたことが最大の眼目で、初夢など見たとしても思いだす場合ではないのだ。

滑稽の作法

【非科学的】穴だけの眼に睨まれて目刺食ぶ 健

目刺は罪もないのに目を「穴」にされている。その罪悪感から穴の眼に睨まれている。という事になった。

「微苦笑俳壇」より

堅焼の目刺に首の肉ばなれ 小杉 隆

食い千切ろうとして首の肉ばなれをした。救急車を呼んだのかい。小杉さんの句と、芥川龍之介の「目刺に残る海の色」の句。八木健の「穴だけ目に睨まれて目刺食ふ」を「目刺三句」としましょう。

<八木 健の 365 句> 忘れものさがしにもどり冬の蠅

<山口誓子の 365 句> 揚げゆきし百合の香ここにとどまれり

【お知らせ】萬翠荘の1階ホールに音声の案内装置が設置される。お客さまがエントランスホールに入ると自動的に女性の声で萬翠荘の概略を解説する。この声の主は絵本作家の加納果林さんである。話題となるに十分な魅力的な声である。加納果林さんは今治市在住であるが、国際的レベルの絵本作家である。<http://calinbell.com/> (ホームページ)

愚陀佛庵通信

2010年6月15日号

季語の蘊蓄(うんちく)

黴 かび 傍題に 黴の宿 黴の香 がある。

俳句は季節の到来を賛美するものというが、害を与える黴は賛美し難い。ところが「害を与える」は 人間本位なのである。黴も生き物の仲間だと思ったとき、黴の花の美しさに魅せられる。

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の15周年記念大会でのトークショーから。

加藤さんの句を拝見して実にさまざまな句があることに驚いているんです。

揚雲雀落雲雀声ややちがひ この句はどんなふうにして出来ましたか？

子どもと一緒に野原に行っていて、子どもが声の違いに気づいたのです。

私は気づかなかった。 朝寒の新聞に猫すわりをり この句はいかがでしょう。

これは 朝寒や新聞に猫すわりある にしたほうがいいでしょう。

はい これからはそうします。(大爆笑)

名句鑑賞

雪だるま星のおしゃべりぺちやくちやと 松本たかし

「ぺちやくちや」は一般的には音である。擬音である。ただし、この句では映像である。瞬きをおしゃべりしているかに思った。だからぺちやくちやとしてもこの句から音はしない。そしてこの句の主役は「雪だるま」である。ぺちやくちやの星は背景である。

滑稽の作法

【非科学的】頭を低くして蝉時雨くぐりけり 健

蝉時雨は人の頭に危害を与えることはない。なのに頭を低くしたのは可笑しい。

「微苦笑俳壇」より

シャムペルシャ国境越える猫の恋 杉崎弘明

国境を越えるがいいね。猫自身は国籍なんか意識してはいない。しかし飼い主の立場では純潔種の保持が難しくなるから具合悪い。日本人も国際結婚が増えており、将来純潔種は人間国宝に。

<八木 健の 365 句> 方便の嘘をつきけり神の留守

<山口誓子の 365 句> 空蝉を妹が手にせり欲しと思ふ

愚陀佛庵通信

2010年6月16日号

季語の蘊蓄(うんちく)

水馬 (あめんぼう) まいまい 水澄(みずすまし)

細長い六本脚で水面を跳ね回る 間違いやすいのに 「まひまひ」がある。

池や小川の水面を輪を描きながら忙しく動きまわる 水澄 である。

鼓虫 と書いて まひまひ と読む

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の15周年記念大会でのトークショーから。

霊肉のあひたたかひし日記果つ これも凄い句ですね 精神世界と愛欲の世界が交錯して頭の芯が痛くなるような・・・ハイこれは 勿論私のフィクションです。この頃は小説を読んでいました。ケッセルの昼顔という小説ですが今考えると恐ろしい小説でした。小説を読んでも俳句ばかり出来るんですよ。

名句鑑賞

ゆびさして寒星一つつつ生かす上田五千石

ゆびさしては・・子に星の解説をしている父親だろう。解説それたそれぞれの星が輝きはじめるのだ。夜空というステージの主役 脇役。

滑稽の作法

【誇張】飛ぶ燕地に条痕をつけにけり 健

条痕はピストルなど銃の筒に出来る弾痕である。低く飛ぶので地面に筋がついてしまった。と言い切る。「つけるかに」ではない 俳句は断定である。

「平成の滑稽」より

平成 20 年 8 月に出版したアンソロジーだが、今は入手困難である。一か月ほど前に、インターネットの古書店の売価は 5000 円とあったが、今は消えてしまった。

「読みたいのだが」という複数のリクエストにお応えして・・。

1500 句あるので一回に五句ずつ紹介して 1 年ぐらいかかるが・・

青き踏む立ち入り禁止とは知らず 稲沢進一

腹すつてダックスフンド青き踏む 内田弘司

雨の日は青竹晴れの日青き踏む 小此木終生

忠犬と不忠犬つれ青き踏む 立石朋

労基法三十五条により朝寝 魚田裕之

<八木 健の 365 句> わたくしを障子の部屋に閉ぢ込める

<山口誓子の 365 句> この崖にわが立つかぎり蟹ひそむ

愚陀佛庵通信

2010 年 6 月 17 日 号

季語の蘊蓄(うんちく)

三尺寝 さんじゃくね 昼寝の傍題で 職人が三尺しかない狭い場所で昼寝をすること。と多くの歳時記に解説されている。実はもうひとつ 意味がある。それは「職人が三尺日蔭が移動する間の許される眠り」どある。

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の 15 周年記念大会でのトークショーから。

雪の嶺を磁針のをどりつつ指せり

この句を私が解説しますから違っていたらおっしゃって下さい。雪嶺に近づいている。磁石で方角を確かめる。針が踊りつつ北を指す。という風景ですね。これは磁針作でしょう。(笑い) これから自信作は ? と質問されたら この句をおっしゃって下さい。しかし、

磁針の踊る という表現に山頂に近づいている喜びが出ていますね その通りです 心踊りですね。今になって見るとその喜びが表現となって 出ているんですね。八木さんは 解説がお上手ですね。 「が」ではなく 「も」です。

名句鑑賞

雪はげし抱かれて息のつまりしこと 橋本多佳子

恋の句で知られる美貌の俳人。

息あらし雄鹿が立つは切なけれ

交尾期の雄鹿が雌を得るために角を突き合わせて戦った直後の姿。

雄鹿の前吾もあらしき息す

寝姿の夫恋ふ鹿か後肢抱き

若くして未亡人となった多佳子の夫恋いのうたである

滑稽の作法

【断定】虫入れて重くなりけり虫の籠 健

虫を入れたから重くなる・・・感じたのである。感じたことを断定的に言うのは滑稽句に限ったことではないが

「平成の滑稽」より

目覚ましのいらぬ余生の朝寝かな 越前春生

覚えなき泥吐かされて浅蜷泣く 有吉堅二

浅蜷にも事情聴取か砂吐かず 物江晴子

浅蜷汁律儀でとれぬ椀の蓋 山本 賜

満腹となり気づかるる虻の奴 藤井儀和

<八木 健の 365 句> 船虫の遁走最短距離を行く

<山口誓子の 365 句> 危ふきとき蟹は土管に入れば足る

愚陀佛庵通信

2010年6月18日号

季語の蘊蓄(うんちく)

金亀子(こがねむし) 傍題に 黄金虫 かなぶん ぶんぶん

夏の夜 灯火をしたって飛んでくるコガネムシ科の甲虫の総称である。

うね句会で 金亀子 という題が出た。意味がわからず「なんのこと？」

と尋ねられた女性が、金の「タワシ」よと答えた。よく知られる小話。

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘の15周年記念大会のトークショーから。

裸婦像は暗し外套群がりて

この句はわからない 裸婦像 というから彫刻だと思いましたが 絵です ムンクの「青き裸婦像」という絵があるんです。絵全体が暗い。帰宅して画集を取り出して見た。やはり暗いんです。 みなさん、お聞きのように小説は読む。映画は見る。雪山には登る、美術展には行く。好奇心の強さは半端じゃない。そう思いませんか そうですね。乳飲み子を抱きながらなんでも俳句に結びつけて「なにか俳句にならないか」そればかりを考えていましたね。

名句鑑賞

草いきれ貨車の落書走り出す 公平

長くつながれた貨車は「草いきれ」の中にまで伸びている。少年たちはその貨車にチョークで落書きをしていたのだ。その落書きが走りだした。日常会話・散文では落書きをした貨車が走りだした。とするところだ。

滑稽の作法

【感じた瞬間を書く】トタン屋根光らせ薄暑製造所 健

俳句は思い込みである。瞬間に感じたことをそのまま書けば こういう句になる。捏ねくりまわしては駄目。

「平成の滑稽」より

釈迦も我も甘茶に飽きてしまひけり 和田次郎

人間を牽つぱつてゐるいかのぼり 中村遠路

一年生ランドセルから手足生え 立石朋

犬ふぐり犬に嗅がれて震へをり 片岡真紀子

抜け道に結集したり犬ふぐり 杉村福郎

<八木 健の365句> 孕ませて風ごと被る夏帽子

<山口誓子の365句> 社に入る一步に椎の花匂ふ

【最近の句会から最高点句】

山蟻の何も持たずに急ぎけり 板倉肱泉(15日愚陀佛庵・松風会句会)

梅の実に歯形をつけて子は退散 小松正幸(16日・朝日滑稽俳句会)

電柱を登ってをりぬ暑さかな 安永竜矢(16日・愛大俳句学・句会)

季語の蘊蓄(うんちく)

出水 (でみず) 梅雨出水 夏出水 とも
梅雨の終わりごろ大雨となり 河川が氾濫する ことをいう。
台風(秋)による出水は 秋出水という。
出水は 背後に山が迫っている地形のところでは めずらしくない。
そのせいか 笑える傍題がある。水禍村 出水宿 出水宿は自分の家を卑下して呼んだのだろう。客人の半身濡らし出水宿 なんてね

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の15周年記念大会でのトークショーから。
子どもを抱いて乳を飲ますのもそこそこに俳句を作っていたんですか(笑い)
ええそんなところでしょう。(笑い)
抱きし子に乳を飲ませず俳句かな(笑い)というところですね。次はどの句にしましょうか。
きぬぎぬのうれひがほある雛かな
加藤三七子の世界は短歌の影響が大きいのでしょうか。結婚するまでは 短歌を作っていました。結婚してから啖呵きったんですね(笑い)

名句鑑賞

初雀翅をひろげて降りにけり 村上鬼城
翅をひろげて・・はわかる 降りにけり は「ふりにけり」なのか「おりにけり」なのか 正解は「ふりにけり」である 屋根から零れ落ちるように舞い降りる雀を描くのに「降(ふ)り」は 活写のわざである

滑稽の作法

【感じた瞬間を書く】吐く息の白きを牛の舌舐める 健
牛が舐めているのは おそらく 自身の鼻孔のあたりだろうが 舌の動きがしなやかで 吐く息を舐めているように見えたのである。それも 白い 色を舐めているということが可笑しいのである。

「平成の滑稽」より

伊予柑の尻に敷かれて置手紙 高橋淳二

猫八のやうに鶯鳴きにけり 三木蒼生
こぼさんと鶯餅を食うてみい 小町圭
コーヒー牛乳出る牛問はる厩出し 枅野雅憲
寝違へて目だけ動かし梅三分 倉方 稔

<八木 健の 365 句> 夏服の去年の皺を着て歩く
<山口誓子の 365 句> 驟雨来ぬ蝉は両眼濡らし啼く

【愚陀佛庵通信のバックナンバー】は滑稽俳句協会のホームページに掲載しています。

<http://www.kokkeihaikukyoukai.net/>

愚陀佛庵通信

2010年 6月 20日 号

季語の蘊蓄(うんちく)

蚊遣火 かやりび 蚊を追い払うために
生木の葉や大鋸屑などをいぶすことをいう。「遣」は追い払うの意味である。
蚊遣 蚊火 蚊取線香 が傍題

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の 15 周年記念大会でのトークショーから。
並みいる俳人たちが真似できないのが加藤三七子の「王朝風」これだけは足元にも及ばない。きぬぎぬのうれひがほある雛(ひひな)かな
きぬぎぬはどういう意味なんですか
後の朝 と書きます。一夜を女性のもとで過ごした男性。終わったあとの朝 という意味です。ははあ
それをきぬぎぬというんですね 今朝の私ですね(笑い) あれれ信じないんですか

名句鑑賞

口紅をもつて点晴初鏡 下村梅子
画龍点晴の点晴 である 全体としてはよくできているがなにかもの足りない。仕上げに口紅ほさして完成。という意味である。中国の故事で 僧が絵を描いた めん玉をいれないので、なぜ入れないかと 問うたところ 目をいれたら 大変なことになる・と言う。いいから目を入れなさいと言われて目を入れたら天に向かって飛んで行ったという。日本にも雪舟が涙で描いたネズミの話があるが 絵がそれほどうまいということ 横道にそれましたが 仕上げの一筆である。

滑稽の作法

【心の描写】私のどこかに殺意とりかぶと 健

俳句は心を描写しておく。精神の記録ツールである。とりかぶと の青紫の美しい花を見て この根は猛毒だ。と思った。これでアイツを殺せる。解毒剤はない猛毒だ。アイツとアイツを殺したいが具体的な氏名は公表できない。

「平成の滑稽」より

梅一輪幼馴染の名で呼ばれ 藤井儀和
詐称する学歴のなくうらけし 有吉堅二
振込めるほどの財なくうらけし 有吉堅二
遠足のちぢんで伸びて天王寺 田代青山
遠足の注意ながなが逸る子へ 堀川亮二

<八木 健の 365 句> ものこはす心地して踏む霜柱

<山口誓子の 365 句> はや動かざるあめんぼう暮を待つ

愚陀佛庵通信

2010 年 6 月 21 日 号

季語の蘆薈(うんちく)

芍薬 シャクヤク キンポウゲ科の多年草である。

奈良時代に中国から薬用植物として渡来。腹痛痙攣 などに効果。

芍に利く薬が根からとれる。根を乾燥したものを芍薬と称した。

それが花の名になった。牡丹を「花の王」と呼び、芍薬を「花の宰相」と呼びたたえる

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の 15 周年記念大会でのトークショーから。

一夜を女性のもとで過ごした男の人は「きぬぎぬの歌」を出さなくてはならなかった。分かれたあとのさびしさを歌にする。それがエチケットだったんです。最近の人はしませんね。携帯でメールでしょうか。

「きぬぎぬのメールを送るヤギケンよ」(笑い) 次です。

業平忌女は怨み易きかな この句と 待つ恋を女は詠めり業平忌 という句
在原業平は「恋の経験の豊富な方でした。」

名句鑑賞

ランプ売るひとつランプを霧にともし 安住 敦

秋の季語「霧」にランプのひとつを点した「霧にともし」が卓抜な表現である。

俳句に数字は不要だが場合によっては 効果的である。「ひとつ」はその例である。俳句は 17 音字しかないのと同じ言葉は避ける。場合によっては効果的である。

・ ・ ランプはその例である。

滑稽の作法

【心の描写】鯉の耳ぴくりと動く春の雷 健

蕪村の名作に 蚊の声す忍冬の花の散るたびに がある。画家でもある蕪村が忍冬の花を描いていて 花が「蚊」に酷似しているのので蚊の声が空耳のように聞こえてきた・ ・ という一句がある。これは 八木健が解明したことで俳文学者の山下一海先生も「納得です」と仰った。拙句の場合も蕪村と同様に頭に浮かんだことを描いた。ゴロロ・ ・ としか鳴らない春の雷に鯉が耳をぴくりと動かした。

「平成の滑稽」より

梅の香にジョギングの妻捕手はるる 加瀬和正
酒といふ薬を飲むや大石忌 和田次郎
坂道にピリオド打てり落ち椿 たなかかなた
朧夜やなぜか遺書めく遺言書 白井道義
おぼろ夜の びんづるさまに髪生える 伊藤希眸

<八木 健の 365 句> 割られある林檎めりめり言ひをりぬ

<山口誓子の 365 句> 木蔭より総身赤き蟻出づる

愚陀佛庵通信

2010 年 6 月 25 日 号

季語の蘆薈(うんちく)

夏蜜柑 は春の季語 ? 夏橙(なつだい)、夏柑(なつかん)初夏の季語とする歳時記
春の季語とする歳時記 さまざまである。春過ぎには収穫し、初夏に食するところから季節が曖昧なのである。江戸時代の中頃に山口県の海岸に漂着した果実の種を蒔いたのがわが国の夏蜜柑のはじまりである。

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の 15 周年記念大会でのトークショーから。
在原業平の続き・ ・ この方は思いを深く恋をしたんです。そういう恋のできる人だった。
男の人でも恋のできる人とできない人とあるでしょう。そんな軽蔑の眼で見ないで下さい。
軽蔑の眼では見ていませんよ。健さんもできるだろうなあと 見てたんです。

早速試してみよう。業平忌という忌日があってそれに「女は怨みやすきかな」「待つ恋を女は詠めり」をもってきた うまいですね。

女の側から詠みました。同じような句を二つ出すと青畝先生は一つしかおとりにならなかった。ところがこの句に限って青畝先生は「どっちもええからとるわ」とふたつともとってくださったんです。

名句鑑賞

冬蜂の死に所なく歩きけり 村上鬼城（1865-1938）

鬼城は重度の聴覚障害者であり、自らの苦難の人生を詠んだ句や、弱者や虐げられた者に同情を寄せる句を作った。この句の蜂は鬼城自身である。

自身を何かに凝すとしたら・「蜂」・鬼城は痩せてもかれても一刺しする鋭さを持つという自負があったに違いない

滑稽の作法

【瞬間に感じたこと】引き抜けば家系図のやう落花生 健

なにかをたとえに使うとき「とんでもない」ものの方がインパクトのある句となる。

「平成の滑稽」より

朧夜と思うてをればわが乱視 魚田裕之

人の目を借りし蛙の目玉かな 内田弘司

カキクケコガギグゲゴとも鳴く蛙 田中ひろし

井の中を楽しんでゐる蛙かな 藤森壮吉

蛙食う南京街の目借時

<八木 健の 365 句> 吾と眼の合ひたる金魚そつぽ向く

<山口誓子の 365 句> 強きもの扁平の頭の大山椒魚

【近況】7月12日に萬翠荘でシンポジウム

高知県立坂本龍馬記念館館長 森 健志郎氏

高知県立坂本龍馬記念館 学芸員 三浦 夏樹氏

坂の上の雲ミュージアム 館長 松原 正毅氏

萬翠荘 館長 八木 健

詳しくは 萬翠荘公式ホームページを御覧ください。

季語の蘊蓄(うんちく)

天道虫 てんとうむし 句のリズムによっては てんとむし 旧かな では てんたうむし テントムシ・・・ カタカナは動きまわる感じがでるから不思議

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘の15周年記念大会でのトークショーから。
人日を窯出しの日と定めけり 人日はどういう意味なんです
一月の七日で じんじつ と読みます。七草の日です。師走の三十日ぐらいまで登り窯を焚いて一月の七日ぐらいに窯出しをするんです。
その頃は焼き物に凝っていました。窯ぐれ女になるところでした。

名句鑑賞

除夜の妻白鳥のごと湯浴みをり 森澄雄
愛妻俳句 という分類がある。森澄雄の句に 妻がみて夜長を言へりさう思ふ がある
愛妻俳句は 大方は シラケルものだが森澄雄の句は ユルセルというか・・・純粋なお人柄だからいい。

滑稽の作法

【哀感が透ける】飯食つて行方不明の帰省の子 健
詩は悲しみを書くものである。嬉しい楽しいでは詩にならない。特に滑稽句は 「哀しみ」が透けて見えてこそである。この句は 都会へ遊学中の子が久しぶりの帰省で昼食をともにして・・・さて・・・東京の生活の一端でも聞き出そうか・・・としたとき 子は風のように消えていたというものである。自身の反省を書いたものです。

「平成の滑稽」より

昨日作者名が抜けていた一句

蛙食う南京街の目借時 山本あかね
陽炎を出て透明な濁世へと 立石朋
風車とまれば口で回しけり 堀川亮二
好奇心強きものから動く蝌蚪 内田弘司
音符めくものも混じりし蝌蚪の水 梅木兜士弥
蝌蚪浮き来どれもふくれ面をして 大阪螢火

<八木 健の365句> 第九歌ふ指揮はおでんの串なりし

<山口誓子の365句> 手を入れて井の噴きあぐるものに触る

【近況】昨日 愛媛朝日テレビの番組新議会。

課題番組は「池上彰の学べるニュース」だった。NHK時代に「週刊子どもニュース」を自ら企画、11年間司会をした池上さんの存在感ある番組。水曜日夜放送のオススメ番組。昨日は四国在住のNHK退職者の会が松山のNHKであった。10年ぶり に再会の人も

愚陀佛庵通信

2010年6月27日号

季語の蘊蓄(うんちく)

甘酒 あまざけ 夏の季語である。甘酒は古くは夏の飲み物で もち米を粥に炊き、麴まぜて六、七時間とろ火であたためると、できあがる。酒成分はない。米 10 麴 10 水 15 の割合が適当とされる

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘の15周年記念大会でのトークショーから。

さびしをりほそみかるみや紅の花 この句は全然わかりません。

わび、さび、しおり、ほそみ、かるみ、あだ、しおり はゆかしさのこと。

この句は紅の花の咲く頃に陸奥の旅をした芭蕉さんを思って作った句です。

芭蕉さんは 紅花の句を詠んでいます。私も芭蕉の足跡を辿り奥の細道を旅したのです。

わび さび しおり・かるみ・いいですね。「あだ」もあります。「あだ」は色っぽいのです。これらは芭蕉の俳句の底流に流れているものです。芭蕉の俳句の理念を全部書いたら「紅の花」とつけたくなったのです

名句鑑賞

音たてて浴衣に腕(かいな)通りけり 新村青幹

糊のきいた浴衣を自身が着るときの実感を写生したものだが、腕を擬人化のようで可笑的い。

滑稽の作法

【哀感が透ける】みずからを死体遺棄して油蝉 健

死体遺棄という俳句的でない言葉を使ったところがこの句のポイントである。

遺棄は他動詞であるが 「自ら」を付して 自動詞とした強引も滑稽。

それは意外性の滑稽となる

「平成の滑稽」より

句集「平成の滑稽」は2008年8月19日に本阿弥書店から八木健編で出版した滑稽句のアンソロジーで現在入手困難である。定価1500円の書籍だが一ヶ月ほど前、のこと、WEBの古書のマーケットで5000円だった。詠んでみたいという希望が多いので五句ずつ連載している。

戦より汚染に滅ぶ蝌蚪の国 川本轟
蝌蚪の国潰して道路大国に 草薙一朗
かかりつけの医師と同病花粉症 有吉堅二
眉間に皺寄せて羅漢も花粉症 安藤淑子
どう見ても母娘どう見ても花粉症 金田伸一

<八木 健の365句> 生真面目な人なり姿勢良く昼寝

<山口誓子の365句> 海上の見知らぬ村は烏賊火村

【近況】昨日、萬翠荘で甦る大正浪漫 というタイトルのコンサートが開かれた。

司会を担当した。浪漫という字は夏目漱石が考えた当て字。

昨日「虎造節保存会」の四国支部の公開勉強会の準備会をひらいた。公開勉強会は7月5日 午後1時から、萬翠荘で開催。入場無料。

近々萬翠荘のホームページでご案内します。

愚陀佛庵通信

2010年6月29日号

季語の蘆薈(うんちく)

半夏生 はんげしょう 24節気のひとつ。

夏至から11日め 7月2日に当たる。この頃梅雨があける ドクダミ科の多年草葉の一部が白くなる。半化粧の意味があるのかも・・・これは かも知れぬ である。同じ表記で二種の季語とはそういえば・・・同じ表記で夏の季語と冬の季語。「氷雨」(ひさめ) がある。

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の15周年記念大会でのトークショーから。

一誌編む苦しさであり灯親し これは黄鐘を創刊した当時の句ですね。

苦しかったんです。いろいろと精神的にも苦しかった。昭和52年です。句集「万華鏡」を出した年です。ちょっと早いかなあと思いながら創刊に踏み切ったんです。

阿波野青畝先生の「かつらぎ」から独立なさったのですね。お許しを得てですね。

名句鑑賞

訝(こだま)して山時鳥(やまほととぎす)ほしいまま 杉田久女
久女の代表作 昭和6年の作 下五の「ほしいまま」を得るために幾たびも英彦山に通ったという。名句を得るための執念のすさまじさ。

滑稽の作法

【哀感が透ける】窮屈をものともせず紙魚(しみ)の恋 健
紙魚は昆虫である。書物や衣服を食いあらす。紙魚の恋は窮屈な環境である。

「平成の滑稽」より

どう見ても母娘どう見ても花粉症 金田伸一
課長以下部下全員の花粉症 竹澤 聡
花粉症なり街角のティッシュ配る人 畠中圭子
鈍感と言へどもくしゃみ花粉症 藤森壮吉
ピストルを持つていさうな花粉症 榊野雅憲

<八木 健の365句> 白眼剥く牛を引き出す寒の明け
<山口誓子の365句> 小さきもの紙魚にも殖えてともに遁ぐ

愚陀佛庵通信

2010年6月30日号

季語の蘊蓄(うんちく)

枇杷葉湯 びわはとう 夏の季語 枇杷の葉を煎じたもので、暑気払いの薬である。季語になっているということは かつては 一般的なものだったのだろう

俳句豆知識

俳句結社・黄鐘(おうじき) の15周年記念大会でのトークショーから。
黄鐘を創刊することについて 阿波野青畝先生は、ふんぶん やったらええ 言うて、出来た雑誌をお持ちしたら「こんな物凄いの作ったんか」とおっしゃって「かつらぎよりええじゃないか」などとおっしゃいました。創刊時の会員は150人ぐらいでした。阿波野先生は「はじめは燃えていても誰も助けてくれる人あらへんで、それでもするの」とか「どんどん人が減ってしまっただけにはあんた一人になるわ」なんておっしゃいました。脅かされたんですか。

名句鑑賞

こひびとを待ちあぐむらし鬪魚の辺 火野草城

若い女性が熱帯魚のピニアの水槽を覗いている。しきりに覗くのだがピラニアに関心があるとも思えぬ。待ち人が来ぬイライラを鎮めようとして覗いているのだ。俳句の創作も鑑賞も想像力である。

滑稽の作法 【哀感が透ける】村いちばんの美人も彼岸墓の中 健
諸行無常である。この句を読んだ女性から 「恋人だったんですか」と問われて、美人はみんな死んでしまいました と答えたのだが

「平成の滑稽」より

亀鳴くと鳴かぬと政治討論会 三木蒼生
義士祭めがねの義士が練り歩く 立石 朋
北窓を開けて隣の子沢山 越前春生
茎立ちて狂つてしまひ花時計 加藤マサ子
啓蟄や「メールを見ろ」とはがき来る 魚田裕之

<八木 健の 365 句> 立冬や尺貫法で五合呑む
<山口誓子の 365 句> 金魚田に金魚片鱗だに見せず